



★ 羅針盤

No.44

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

台風26、27号が通り過ぎたら急に寒さが増してきました。紅葉の季節は短いようです。

冬季に入ると濃度が上昇するといわれている大気汚染物質PM2.5のニュースも多く聞こえるようになってきました。PM2.5は大きさが2.5μm以下(髪の毛の太さの30分の1)という非常に小さな粒子のため肺の奥深くまで入りやすく、喘息や気管支炎など呼吸器系疾患、さらには肺がんのリスクもあると聞くと心配になり、天高く・空を仰ぐこともはばかられます。発生原因は、物の燃焼により作られる一次生成と、大気中での化学反応により作られる二次生成があるようですが、いずれにしても世界中が経済発展の手段としてエネルギー消費を増やしていくことから、このままでは生成され続けるPM2.5が、大気の循環により世界中に撒き散らされることにもなりかねません。

近年は「環境」がキーワードとなり、身の回りにも「地球にやさしい・・・」という意識が強くなっていますが、PM2.5も発生源とされる施設の改善策や、屋内への遮断と換気設備の開発が急がれます。

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理をお受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



★ 羅針盤

鉄スクラップ



考察) 東京製鉄宇都宮工場35,000円/トンでスタートし、最終的には37,000円まで上昇。2011年9月30日の価格改定以来約2年ぶりの高値になりました。宇都宮工場の主力製品H形鋼の需要が好調のため生産量の増加が原因。他の電炉・高炉メーカーは多少は上がったものの、東鉄宇都宮ほど伸びていない。品物不足であり関東湾岸浜値も伸びていることから見て11月も多少であるが上がると思われれます。



銅



考察) LME7,290ドル台、国内銅建値760,000円/トンでスタート。中盤、円高・米子算審議問題等により下げましたが、すぐに国内銅建値が760,000円に戻し、最終的には740,000円/トンまで落ちました。11月に関しては、円安に振れているためすぐに戻すでしょう。

アルミ



考察) LME1,840ドル台でスタート、上がるといわれましたが変わらず。11月も同じと思われれます。

プラスチック



考察) 一部製品の上げの報道はあるものの、SCの売却根は変化がみられず。11月も同様でしょう。

10月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	○	プラスチック	○

鉄・非鉄スクラップ・市況からの11月予測

営業部 Y の考察

★ 羅針盤

循環資源の高度利用と資源確保

本年5月31日に、我が国の廃棄物・リサイクル対策の今後の方向性を示す、第三次循環型社会形成推進基本計画が閣議決定されました。

この計画は、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される「循環型社会」を形成することを目指し、循環型社会形成推進基本法(平成12年施行)に基づき策定されているものです。

これまで3Rの取組進展、個別リサイクル法等の法的基盤の整備と、それに基づく努力、国民の意識の向上等により、最終処分量の大幅削減が実現するなどの実績を上げておりますが、他方では東日本大震災で発生した大量の災害廃棄物の処理が大きな社会問題となり、また、近年の資源価格の高騰に見られるように、今後、世界規模で資源制約が強まると予想されていることから、本計画では、これらの情勢の変化に対応するために、最終処分量の削減など、これまで進展した廃棄物の量に着目した施策に加え、循環の質にも着目し、

- ① リサイクルに比べ取組が遅れているリデュース・リユースの取組強化
- ② 有用金属の回収
- ③ 安心・安全の取組強化
- ④ 3R国際協力の推進

が新たな政策的柱となりました。

中でも、②の有用金属の回収は、廃棄物を貴重な資源として捉え、そこから有用資源を積極的に回収し循環利用していくことが求められており、われわれスクラップ、産業廃棄物処理業界が積極的に推進し、循環型社会形成へ貢献できるものです。

現在我が日本国内では、金属資源はほとんど採掘されておらず、ほぼ全量海外の鉱山に頼っているとの報告です。

また、金属資源は海外でも採掘できる場所、及び採掘量にも限りがあります。これまでの間に世界全体で採掘した資源の量(地上資源)と現時点で確認されている今後採掘可能な鉱山の埋蔵量(地下資源)を比較すると、金、銀などは地上資源の方が多くなっているとのこと。

スクラップ、産業廃棄物ともに、排出事業者様と当社のような中間処理業者が真剣に使用済み製品や、スクラップ、産業廃棄物の中から、宝である有用金属を少しでも多く取り出す技術を開発しなければならぬ時です。

小型家電リサイクル法も制定され全国で動き出しています。量の多寡にかかわらず、排出物を大切に資源に戻し、次世代へ資源を循環してゆく努力が求められています。



チャレンジ人生

(第16回)

あと2か月で今年も終わりです。年末に向けて廃棄物が増えることを期待しています。

さて、前回、長女の喘息の話をしました。今回は次男の事をご紹介します。次男は長女と11ヶ月違いで生まれてきました。長男が生まれ6年以上も次の子が出来なかったにも係わらず、たて続けにできたのは何故でしょう。答えは私が芸人を辞めて家に帰るようになったからです。本題に戻ります。

次男は、生まれた時は2,950gと普通の赤ん坊でした。

何が違ったかという、心臓に繋がる大動脈と肺に繋がる血管が逆につながっていました。病名は「大血管転移症」はじめて聞く病名です。東京都では難病指定でした。

生まれた時、ガラス越しにわが子を見た時、顔が黄色いのですぐ先生に聞いたところ「臍の緒が首に巻きついていたので問題ないでしょう」と言われました。しかし、疑い深い私は、産婦人科の先生ではわからない、小児科の先生に診察してほしいと頼みましたが、あいにくその病院には小児科はありませんでした。ただ、週に1回だけ日赤の先生が来るようになっていました。運よく異変に気付いた翌日が検診日でした。

日赤の先生に診てもらったところ「心臓の音がおかしい。」すぐにエコ検査が必要と判断、救急車で日赤病院に搬送されました。実は、この病院は通常、長男が手術した東邦医大に搬送するのですが、なぜか広尾の日赤病院に運びました。後で聞いた話ですが、その時に来た先生の判断だったそうです。

搬送されエコ検査をしたところ、大血管転移症であることが判明。すぐにカテーテルで血管を広げないと助からないと会社に連絡が入りました。

その時、私は仕事で松戸にいました。インドマグロの大トロを運んでいる最中でした。インドマグロは7,000円/kgで、非常に高価な食材です。100kg近く積んでいました。急いでマグロを降ろさないと大損害になってしまい、しかもお客様に多大な迷惑をかけてしまいます。

どうしようかと悩んでいるときに、会社から連絡が入りました。「マグロなんてどうでも良いすぐに病院に行け。親の承諾がないとカテーテルは出来ないのだよ！」出産3日目だったため、妻は動けず、私が行かなければなりません。会社からの連絡ですぐに病院に駆けつけて何とか間に合い、カテーテルを行う事が出来ました。

涙で会社には大変感謝しています。ただし、これで助かったわけではありません。この後、手術までのドキドキの経緯は次にお話します。(営業部課長) 山本 兼嗣